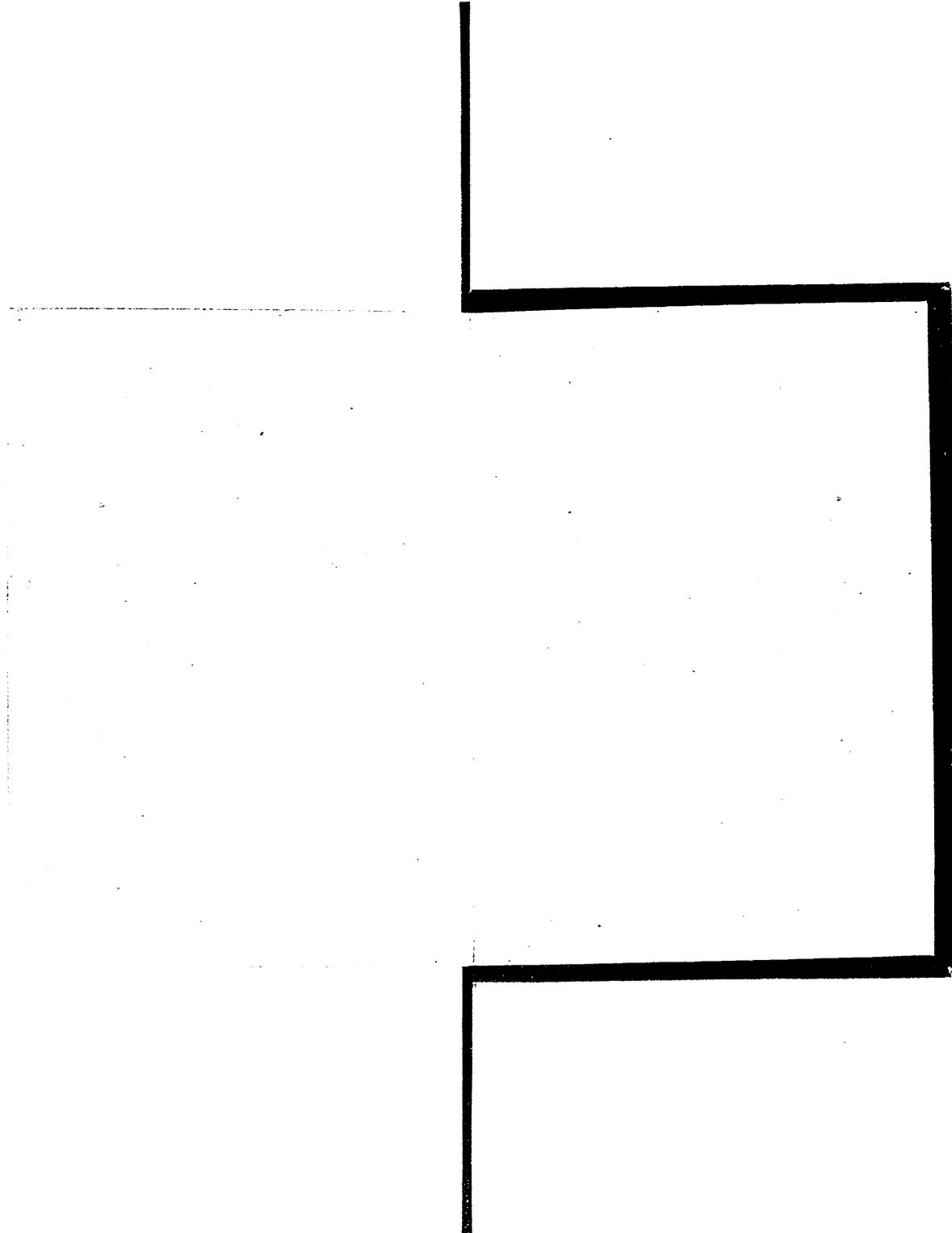




K121.7

13



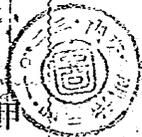
京都市美術工藝學校教諭

山元春舉先生著述

新撰日本畫初步

京都

福井正寶堂版



甲種
教師用

新撰 日本畫初步

緒言

圖畫ハ兒童チシテ通常ノ形體ヲ看取シテ正シク之ヲ畫クノ能ヲ得シメ兼テ美感ヲ養フヲ以テ要旨トス。ト是レ小學校令施行規則第八條ノ明文ナリ。又意極メテ簡ナリト雖モ其ノ小學校ニ於ケル圖畫ノ目的ヲ表示シテ亦餘蘊ナシト云フベシ。即チ兒童チシテ圖畫ヲ學ハシムルハ先ツ其ノ形體ノ概念ヲ精確ナラシメ後之ヲ畫クノ技能ヲ練習シ以テ他日ノ實用ニ資セシメ且其ノ美育上ノ觀念ヲ發達セシメテ高尚優美ナル氣風ヲ養成スルニ在リ。故ニ真正ニ小學校ニ於ケル圖畫教育ノ目的ヲ達セント欲スレハ其ノ教科用書タル畫本ノ編纂上特ニ用意ノ周到ヲ期セサルベカラズ。要ハ專ラ其ノ形體ノ精確ヲ旨トシ教材ハ兒童ノ日常目撃シテ最

モ興味ヲ感スベキ物體ニ探ラサルベカラス而シテ其ノ智力ノ發達ニ伴
ヒ漸次簡ヨリ繁ニ及ボシ他ノ學科ト連絡シ協力以テ兒童ノ觀察力ヲ開
展シ其概念ヲ容易ニ形體ニ表ハスコトヲ得ヘキ技能ヲ養成シ不知不識
ノ中ニ審美的觀念ヲ助長セシメテ高尚ノ域ニ導クコトヲ務ムベキナリ
然ルニ從來刊行ノ小學校用毛筆講帖タル概ネ此ノ旨趣ニ反シ或ハ一流
一派ニ拘泥シ或ハ用筆ノ自在ヲ旨トシ筆意ヲ主トスル專門講家ノ階梯
タルカ如キモノアリ殊ニ其ノ編纂ノ順序ニ至テハ單ニ學問的順序ニ依
リ最初ハ兒童ニ何等ノ興味ヲモ與ヘサル直線曲線ノ練習ノミヲ主トス
ルモノアリ其他一般教材ノ撰撰ニ至テハ毫モ普通教育ノ本旨ト小學校
圖畫教授ノ目的ヲ了セスシテ編纂セルモノ多シ誠ニ遺憾ナリト謂フベ
シ本書ハ此ニ鑑ミ改正小學校令ニ依リ兒童發育ノ度ヲ察シ其能力ニ適

二

セシメ專ラ實用ニ裨益センコトヲ謀リ今本書編纂上ニ關シ特ニ注意セ
ル要點ヲ左ニ列舉ス

一 形體ノ精確ヲ主トシ用筆ヲ容トセリ講ハ用筆ノ如何ニヨツテ活
氣ヲ帶アルモノナレトモコレヲ兒童ニ授クルハ望ムベクシテ能ハ
ザルコトナレバ專ラ形體ヲ正シク講クコトヲ旨トシ其形體ニ於テ
上ニ於テ其能力ヲ察シ用筆ニ注意セシメンコトヲ要ス即チ用筆法
ハ其物體ヲ寫スニ於テ設ケシ便法ナレバコレニ拘泥スル如キハ練
習上探ラザル所ナリ故ニ任意ノ法ヲ用フルモ其形體ニ於テ精確ヲ
得レバ可ナリトセザルベカラズ教授者特ニ此点ニ留意アレ

一本帖ハ從來毛筆講帖ノ襲用セル兒童ノ趣味ヲ感ゼサル紋樣講及ビ
困難ナル沒骨講ヲ除キ悉ク線ヲ以テ講キ勉メテ實用ニ資スルヲ主

三

眼トモリ是レ没骨法ハ手腕ヲ練習シ減筆ヲ以テ其物體ヲ講クニ於テ適當ナルモノニシテ本邦畫ノ得意トスルトコロナレトモ其形体ヲ正シク講クニハ不適當ナルノミナラス之ヲ兒童ニ授クルニハ極メテ困難ナレバナリ

四

一 圖樣ハ悉ク遠近法ニ從ヒ且寫實ヲ旨トモリ是レ本帖ノ特ニ意ヲ用ヒシ所ナリ而シテ初卷ノ省筆畫ハ説明圖ノ傍ニ其物體ノ寫生ヲ掲載セルヲ以テ教授者ハ此等ノ圖畫ハ勿論其他ニ於テモ可成實物若シクハ類似ノモノヲ示シテ兒童ヲシテ實物寫生ノ方法ヲ知得セシメントテ要ス

一 教材ハ多ク普通學科ノ教材ニ採リ以テ其連絡ヲ謀ルヲ務メ兒童ノ日常目撃セル器物ヨリ初メ漸次智力ノ發達ニ伴ハシメントカ爲メト

木建築植物動物ニ及セリ而シテ器物ハ多ク日常家庭ニ使用スルモノニシテ可成理科ノ學理ヲ應用セルモノニ採リ土木建築ハ幾何ノ應用ヲ示シ動植物ハ其一般ヲ知ラシメントカ爲各部門ニ於テ其種類ノ特色ヲ有スルモノヲ示シ以テ推究ニ便ニセリ故ニ教授者ハ時々其應用ヲ試ミ以テ其技能ヲ確實ナラシムルヲ要ス

一 兒童ニ歴史的觀念ヲ起サシメテ事物ノ變遷發達ヲ知ラシメントカ爲日常觸目セル物體ニツキ往々古今二物ヲ併置セリ故ニ教授者ハ教授ノ際其變遷發達及之レニ關聯セル事項ヲ詳細説明セシコトヲ要ス

教授ノ方法

圖畫ヲ教授スルニハ最初簡易ナル没骨法ノ講本ニ依リテ專ラ手腕ヲ練

習シ手腕ノ運用稍熟スルニ及ンデ初メテ臨模ニ由テ用筆着色ヲ學バ
シメ寫生ニ據テ圖樣ノ構成ヲ教ユル者ナレトモ是レ専門的教授法ニシ
テ兒童教授上ニ採ラサルトコロナリ故ニ小學校ノ教授ハ臨講教授ヲ以
テ最モ適當トス臨講ハ臨本ヲ見テ畫クモノナルガ故ニ其順序方法宜シ
キヲ得レバ學ビ易ク入り安キモノナリ之レヲ教授スルニハ手腕ノ練習
固ヨリ主要ナルモ先ツ形体ノ概念ヲ精確ナラシメメカ爲メニ目ノ練習
ヲ務メザルベカラズ故ニ初學年ニ於テ直線曲線及其ノ應用圖ヲ畫カシ
ムルニ當テハ教授者先ツ黑板ニ其線ヲ描キテ下筆ノ順序ヲ示シ兒童ヲ
シテ(黑板ニ描クノ際教授者ハ白墨ノ太ク短キモノヲ斜ニ使用スルヲヨシトス之レ線ノ大小ヲ描クニ便利ナレバナリ)明瞭ニ之レヲ識別セ
カシムベシ其ノ物体ニ在テハ詳細ニ之レヲ説明シ兒童ヲシテ其性質等

テ了解セシメ而シテ後筆ヲ執ラシムベシ下筆ノ順序ハ本書說明圖中ニ
符號ヲ附シ有ト難甚細ノ處ニ至テハ畫者ノ隨意タルベシ又筆ハ左ヨリ
右ヘ運ビ上ヨリ下ヘ引クヲ通常トスレモ場合ニ由リ反對ニ用ユルコト
ナキニアラズ此等ハ柳木羽毛岩石ノ皴ノ如キモノヲ畫クノ時ニアリテ
其他ハ極メテ稀ナルトトス而シテ一圖ノ中先ツ其主眼ヨリ始ムベシ
主眼ヲ畫クニハ其中央ノ我カ目ニ近キ部分ヨリ始ムベシ然レトモ圖樣
ヨリ必ズシモコノ法則ニ據リ難キコトアリ宜シク斟酌スベシ稍複雑ナ
ル畫ヲ畫カシメニハ先ツ木炭(鉛筆ニテモ可ナリ)ヲ以テ其形狀ノ概要ヲ畫キテ
其各部ノ位置ヲ定メ再三之レヲ修正シ形狀稍整フニ及ンテ各部分ニツ
キ位置ヲ整ヘ臨本畫ト異ナラザルニ至テ羽帚ニテ輕クソノ炭痕ヲ掃ヒ
僅カニ炭痕ノ殘リタル上ヲ墨筆ニテ徐々ニ畫カシムベシ然レモ細密ナ

ル部分ニ至テハ木炭ヲ以テ畫キ能ハザルコトアリ其際ハ鉛筆ヲ以テ其位置ヲ定メ淡墨ヲ以テ細ク之レヲ修正シ尙整ハザレバ朱若シクハ濃墨ヲ以テ訂正シ之レヲ下圖トシテ透寫セシムルモ妨ケナシ

教室ニ於テ教師先ツ其授クベキ圖ヲ黑板ニ畫キ之ヲ生徒ニ畫カシメ机間巡視ニ由テ其欠点ヲ認メ黑板上ニ之レヲ指摘シテ修正セシムルハ普通ノ教授法ナレド初學年ニアツテハ其一圖ヲ教ニル初ノ時間ニ於テ教師先ツ生徒ノ使用スル紙面ヨリモ放大圖ヲ描キ之レヲ四分シテ其中心ヲ求メ授クベキ圖樣ノ紙面上ノ位置及割合ヲ点線ヲ以テ示シ生徒ヲシテ之レヲ全クシクセシメテ臨本紙上ノ中心ノ其圖樣ノ何邊ニアルヲ認メシメ(紙ノ中心ヲ求ムルニハ紙ヲ四折セシムベシ)充分ナル注意ヲ隱キ而シテ教師先ツ第一線ヲ畫キ直ニ生徒ヲシテ其線ヲ畫カシメ教師第二線ヲ畫カハ生徒其線ヲ畫

八

キ交互シテ一圖ヲ畫ケバ教授ニ於テ大ニ興味ヲ有シ生徒ヲシテ其紙面ニ於ケル位置ヲ悟了セシメ形ヲ整フル上ニ於テモ大ニ益アルベシ

教授ノ際特ニ注意スベキハ本書ハ臨寫スベキ摸本ナリ故ニ線ノ大小長短点ノ大小疎密皆ソレト違ハサラシムベキハ素ヨリソノ所ナリト雖圖樣ニヨリ筆致ニヨリテハ必ズシモ之レニ據ルベカラザルモノナキニアラズ又據ルヲ能ハザルモノモアラソ是レ次ノ圖解ニ於テ一々詳錄セルヲ以テ教授者ハ能ク此ニ注意アラソトナ希望ス例ヘハ渴筆ノ如キ毛畫ノ如キ誰レカ能ク原圖ト毫釐ノ差ナキヲ得ソサレバ其摸スベカラザル所ヲ摸セントスルハ眞ニ徒勞ニ屬シテ却テ其精神ヲ失フ故ニ之レヲ摸スルニ當テ形似ノ一部ニ於テシトヒ些ノ差違アルモ大休ニ於テ大差ナケレバ足レリト爲サザルベカラズ

九

之ヲ要スルニ圖畫教授法ハ殆ント國語科ニ於ケル習字ト同様ニシテ之ヲ添削スルニモ先ツ兒童ノ概念ヲ訂正シ然ル後ニアラサレハ決シテ其形狀ヲ修正スヘカラズ何トナレバ兒童ノ概念ハ極メテ不精密ナルモノニシテ若シ試ニ兒童ヲシテ人物鳥獸ヲ畫カシメノカ手足同一ノ所ヨリ生スル人物羽ナキ鳥二本足ノ犬ヲ畫クノ類往々ニシテ然リ臨講教授ニ於テモ手木ト甚シキ相違アルモノヲ畫キ時ニ抱服ニ堪ヘサルモノヲ見ルハ其ノ概念ノ精確ナラサル結果ニ外ナラサレハ教授者深ク此ノ點ニ留意シ其形狀ノ不完全ナルモノハ實物若クハ詳説ニヨリテ其形狀ノ概念ヲ訂正セシメ後其添削ヲ加フヘキナリ然ラサレハ勞シテ効ナキニ終ラソノミ

又其ノ添削ヲ施スニモ必ス一時ニ多キヲ望ムヘカラス先ツ其最モ不完

全ナリト認ムヘキ廉ヲ訂正シ然ル後ニヨリ二ト順次ニ訂正シ數目數回ノ添削ヲ經テ完全ニ赴クヲ期セザルベカラス其消書ノ如キ不完全ナリトテ朱モテ塗抹スルカ如キハ大ニ避クヘキ事柄ナリトス

濃淡及着色

濃淡ハ物ノ凸凹陰陽向背遠近ヲ區別シ墨畫ニアツテハ其物質ノ色彩及其濃淡ヲ代表スルモノニシテ濃淡ノ巧拙ハ直ニ其畫ノ死活ニ關係スルモノナレバ之レヲ施スニハ最モ慎重ヲ要ス其墨色ヲ別チテ濃墨中墨淡墨ノ三トス中墨ハ濃淡ノ中間ヲ云フ濃墨ハ色ノ深キモノニ用ヒ中墨之レニ次キ淡墨ハ淺キモノニ用ユ例ヘハ水月又白色及ビ之レニ近キモノハ淡墨ヲ用ヒ赤藍靑深綠ノ如キハ濃墨ヲ用ヒ其中間ハ中墨ヲ用ユルナリ而シテ墨色ノ練習ハ繪畫ニ於テ最モ必用ノモノナレトモ兒童ニ之レ

十一
手授クルニハ極々テ困難ナルモノナレハ尋常科ニ在テハ専ラ形ヲ整フルヲ練習セシメ高等科ニ至テ徐々ニ黒色ノ區別ヲ教ユベシ又着色ヲ教ユルニハ先ツ淡墨ヲ以テ其圖畫ノ一部ヲ平染セシムベシ此法先ヅ小皿ニ淡墨少許ヲ作り清ク洗ヒタル筆頭ニ淡墨ヲ含マセ其塗ルベキ部分ノ一隅ヨリ滯リナク塗り潰スモノトス其レヨリ漸ク進ミテ渲暈即チ(ボカシ或ハクマドリ)ノ法ヲ教フベシ渲暈ヲナスニハ豫メ一本ノ筆ヲ要ス一ハ墨ヲ着クル筆ニシテ一ハ限筆ナリ其法先ツ染メントスル部分ノ一隅ヲ中墨モテ抹シ直ニ限筆ニ水少許ヲ含マセ其中墨ノ際ヨリ墨ヲ引延ストキハ墨ハ限筆ニツキテ流レイッベシ此ノ如クスルヲ再ニ三ナレバ斑痕ナク暈ヲ得ルナリ此方法ヲ練習シテ稍熟スレバ始メテ繪具ヲ用ヒテ着色セシムベシ高等小學校ニ於テ課スル着色法ハ單彩色ヲ以テ適

當トス

凡ソ白描畫ニ着色スルハスベテ墨畫キテ了リタル後ニスルモノニシテ此法亦墨ノ濃淡ト全シク別ニ皿ニ要スル色ヲ溶キ置キテ一色ヅ、纒テ染ムベシ色ハ淡クシテ斑ナラザルヲ可トス濃キハ下品ニシテ且染ヲ損スルヲアリ又一圖ニシテ數種ノ着色ヲ要スル時ハ先ツ最も多キ分ヨリ始メ漸次ニ少キ部分ニ及ボスベシ又之レヲ染ムルニハ必ス其部分ノ一隅ヨリ始メ其繪具ヲ引延スベシ決シテ滯セシムベカラズ又其染ムベキ輪畫ヨリ外へ浸ミ出デザル様注意スベシ濃ク染ベキ場合ニハ初學者ハ可成稍淡キモノヲ以テ數回之レヲ染メシメ以テ其目的ノ色ニ達セシムベシ濃淡着色ヲ重テテ施サントスル時ニハ前ニ施シタル色ノ全ク乾キ了リタル後ニアラザレバ筆ヲ着クベカラズ故ニ重テテ染メントスル

ニハ一圖ノ中乾キタル部分ヨリ順次ニ之レヲ施スヲ可トス
 本帖ハ各圖ニ於テ特ニ着色ヲ施サズ之レ教授者ニ據テ適意ノ着色ヲナ
 サシメンガ爲ナリ總テ兒童ハ大ニ着色ヲ喜ブモノナレバ場合ニヨリ
 (本科ニ於テ地圖着色等ノ爲兒童ヲシテ) 高等科ノ初メヨリ小部分ノ着色ヲ施
 (二年生ヨリ繪具ヲ購求セシム得ルナラバ) サシメ進ムニ從テ漸次其部分ヲ増サシムレバ練習上一増ノ興味ヲ有シ
 却テ進歩ノ速カナルヲ認ムベシ
 其繪具ハ決シテ鑛物性ノモノヲ使用セシムベカラズ(坊間ニ密ケル小皿形
 廉ナル繪具ハ筆ヲ汚) 兒童ノ癖トシテ筆ヲ嘗ムルモノアリ繪具ニハ間々毒
 染シテ且有害ナリ) 兒童ノ癖トシテ筆ヲ嘗ムルモノアリ繪具ニハ間々毒
 ナ含メルモノアレバ殊ニ注意シテ其癖ヲ去ラシムベシ黃色及綠色ハ最
 モ注意ヲ要ス

○繪具ノ製造法

普通着色ニ要スル繪具ハ藍錠(藍色) 岱赭石(褐色) 雌黃(黃色) 朱
 錠(赤色) 猩猩脂(紅) 胡粉(白色) ノ六種トス其製造方法ノ大要ヲ左
 ニ掲ケン

藍色 小皿ニ其溶カントスル分量ノ水ヲ入レ其中ニテ膠ヲ磨シ其水
 (藍錠) ノ色ヅクニ至リテ止メ藍錠ヲ全シク其中ニテ徐々ニ磨スベシ
 濃クナルニ及ンテ暖火ヲ以テ乾シ再ビ少許ノ水ヲ入レ指頭ヲ
 以テ漸次攪シ終リテ再ビ暖火ニ之レヲ乾シ必用ノ際一隅ヨリ
 指頭ヲ以テ攪勻シテ使用スベシ

褐色 岱赭石ヲ溶解センニハ藍錠ト全一ノ方法ヲ用ユルモノナルモ
 (岱赭) 岱赭ハ藍錠ニ比シテ其攪勻ヲ多クスベシ

黃色 雌黃ハ粘性ヲ有シ極メテ水ニ溶解シ易キモノナレバ膠ヲ用ヒ

(雄黄) ズシテ直ニ水ヲ以テ溶解シ暖火ヲ以テ乾スベシ

赤色

(朱砂)

朱ハ其塊子ノ大小ヲ論セス乳鉢ヲ用テ研磨シ(極メテ細)重膠水ヲ用ヒテ溶解シ後湯ヲ用ヒテ大蓋ニ移シ攪勻シテ半日許安ズレバ表面黄膿水ヲ生ズ此ノ水ヲ傾出シテ暖火ニ之レヲ乾シ使
用スベシ(黄膿水モ全ク乾カシテ貯フベシ)

白色

(胡粉)

胡粉モ朱ト全ク乳鉢ヲ用ヒテ研磨シ重膠水ヲ以テ溶解シ炭火ヲ以テ乾シ再ビ少許ノ水ヲ加ヘ指頭ヲ以テ攪勻シ再三之レヲ反復スベシ

朱及ヒ胡粉ハ其製法非常ニ手数を要スルモノナレバ初學者ハ可或精製シタルモノヲ購フベシ

紅色

猩燕脂ヲ熱湯ニ浸シ其液ヲ絞リ出シ鐵瓶若クハ土瓶ノ上ニテ

(猩燕脂) 乾カスベシ其絞ルヤ箸ヲ用ユベク指頭ヲ用ユベカラズ又膠及

膠水ヲ用ニベカラズ使用ノ際ハ筆端ヲ以テ一隅ヨリ用ユベシ
又其乾カスヤ充分ニ乾キ了ラザルヲヨシトス

綠色

綠色ハ藍色ニ黄色ヲ和スルモノニシテ藍色七黄色三ヲ老練

(即チ藍ガチ)トシ等分ヲ苦綠トシ藍ニ黄七ヲ嫩綠トス通常ハ

老嫩二種ニテ足レリ其和スルヤ攪勻愈多ケレバ愈可ナリ

總テ繪具猩燕脂ヲ除クノ外ハ指頭ノ攪勻愈多ケレバ其色益鮮美ナルモノナリ

膠髹法(髹水紙製法)

此法ハ總テ液体ノ浸ヲ防クモノニシテ緻密ナル畫ヲ描寫セントスレバ
必用ノモノナリ普通水壺并ニ膠(膠ハ細キモ)七奴ヲ投シテ煮沸シ(蒸ル際

十八
チ以テ白スベシ底ニ構附シ其溶解スルヲ待テ明礬三匁ヲ投入シ再ビ攪勻シ
ノ患アリ置換用ケバ其効際
テ溶解セシメ白布(通常金巾)ヲ以テ濾過シ塵埃ヲ去リ冷却スレハ廣キ
刷毛ヲ以テ紙面ニ澁滯ナク塗抹シ室内ニテ乾スベシ決シテ日光ニ曝ス
ベカラズ通例ハ二回塗抹シ絹モ亦同様ナルモ其最後ノ一回ハ水ヲ倍加
シテ用ユルノ差アルノミ之レヲ行フニハ快晴ノ日ヲ撰ヒ一回毎ニ乾ス
ベシ空氣ニ水分多ケレバ其効力薄シ嚴寒ハ日中ニ於テシ盛夏ハ朝夕ノ
涼シキ時室ヲ展開シテ行フチ可トス又夏日ハ膠礬ノ量八ト二ノ割合ニ
ズベシ其量膠過グレバ渣滓班痕ヲ生シテ其面滑キ礬過グレバ墨撥キテ
面ニ安セズ故ニ先ツ紙片ニ塗抹シ乾クヲ待テ墨ヲ以テ檢スベシ高等小
學校ノ着色畫ニハ総テ紙ヲ用ユルモノナレバ此法ニ依テ生徒各自ニ礬
水紙ヲ製セシムレバ(近來坊間ニ礬水ヲ混ツテ製セル紙ヲ擧ケル
其量稀薄ニシテ緻密ナル着色畫ニ適セズ)一ハ其費ヲ除

キ又手工上ノ心情ヲ涵養スルモノナレバ學校ニ其器具ヲ常置シテ之レ
ヲ實行セシムベシ之レヲ行フニ一教室ノ生徒其數ニ應ジテ二分若シク
ハ三分ノ日チ期シ各自使用ノ量ヲ協力シテ製セシムベシ
先ツ空室若クハ廊下等ノ空氣ノ流通宜シキ處ヲ撰ミ一隅ヨリ繩ヲ室内
縱横ニ交叉シ土鍋ヲ用ヒテ膠礬液ヲ造リ平板上ニテ(杓ヲ應用スベシ)
紙面ニ充分塗抹シ繩上ニ懸ケテ乾カスベシ(毛布ノ上ニテ乾カスモ
適當ナレバ垢塵ヲ去ス)乾ケバ
縞紋ヲ生ズル恐レアラバ末タ全ク乾キ終ワラザル前ニ收メテ平面上
ニ重疊シ(杓ヲ應用スベシ)平板ヲ以テ蓋ヒ壓シテ乾カセバ皺ヲ生スル
ノ虞ナシ

用 具

筆 初學年ニ於テハ習字用ノモノヲ兼用セシムベシ漸ク進ミテハ畫筆

ナ具フルヲ可トス畫ハ線書隈筆及ビ彩色筆トス最初ハ線書ノミニテ足
 ヲリ濃淡着色ヲ授クルニ及ンデ漸次其必要ナルモノヲ増スベシ筆ニハ
 大中小ノ別アレドモ大抵ハ中管一通ニテ可ナリ
 紙 通常ノ半紙ニテ可ナリ着色畫ヲ課スルニハ替水紙ヲ用ユベシ
 墨 習字用ノモノニテ可ナリ但シ毛筆畫ハ墨色ノ秀麗ナルヲ尙フ故ニ
 宿墨等ハ決シテ用ヒシムベカラズ
 硯 習字ト兼用ニテ可ナリ時々之レヲ洗ヒテ清潔ナラシムベシ
 筆洗 陶器若クハ金屬製(ブリツキ製)ノ中央ニ仕切アル器ヲ可トス仕
 切ノ左右ニ水ヲ入レ其一方ノ水ニテ筆ヲ洗ヒ他ノ一方ノ水ハ常ニ清淨
 ナラシメ隈筆ニ含マセ又繪具ヲ溶解スル等ニ用フベシ但シ筆洗ハ濃淡
 畫ヲ始ムルニ至ルマデハ不要ノモノナレバ高等科ニ於テ始メテ使用セ

シムレバ可ナラン

試シ皿及ビ繪具皿 濃淡畫ヲ課スルニ至レハ必用ナルモノニシテ白色
 ナルヲ可トス生徒用トシテハ經三寸前後ヲ適當トスレトモ机ノ面ニ應
 シテ耐酌スベシ之レニテ墨ノ濃淡ヲ檢シ又着色畫ニ於テハ繪具ノ混合
 用ニ供スルモノナリ又着色用トシテ一枚ノ皿ヲ數箇ニ仕切りクルモノ
 (繪皿ト云フ) アリ之レヲ用ユルモ亦便ナリ繪具皿ハ繪具ヲ入ルノ器ナレバ
 其繪具ノ種類ノ數ヲ要スレトモ近來低廉ナル精製繪具ヲ購ゲルヲ以テ之
 レヲ使用スルニ於テハ之ヲ用フルノ要ナシ
 木炭及ヒ羽箒 木炭ハ位置圖取ヲナスニ用ユルモノニシテ細楊又ハ細
 ク割リタル古槍ヲ火ニテ燃シ炭トナシタルモノナリ之レヲ使用スルニ
 ハ短ク折リ細キ竹ノ端ニ挾ミテ用ユルヲ便トス然レモ場合ニ於テハ木

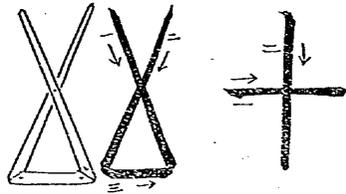
炭ニ代フルニ鉛筆ヲ用ヒシムルモ可ナリ羽箒ハ木炭ヲ使用シタル後其炭痕ヲ掃ヒ落スノ用ニ供スルモノニシテ鳥ノ羽ニ柄ヲ付セル者ナリ以上ノ用具ハ平常ニ於テ何レモ嚴重ニ之レヲ整理スルノ習慣ヲ養フベシ筆ハ使用シタル後必ズ洗ヒ清メ水分ヲ去リ筆鋒ヲ揃ヘシムベシ決シテ密封セル筆入若シクハ箱ニ納メシムベカラズ可成管尾ニ紐ヲ附シ机側等ニ掛ケシムレバ毛根腐敗ノ患少クシテ久シキニ耐ユベシ筆洗試シ皿ハ使用スル毎ニ必ズ洗ヒテ清潔ニセシムベシ

姿勢及執筆

一生徒練習中ノ姿勢ハ端正ナラザルベカラズ身体ヲ屈曲シテ机ニ倚ル等ハ獨リ外見ノ見惡クシテ衛生上大害アルノミナラズ運筆ノ自由ヲ害東シテ充分ニ手腕ノ練習ヲナスコト能ザルナリ

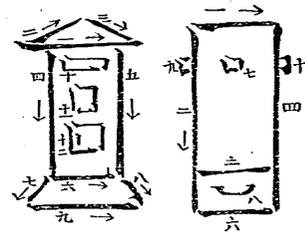
一執筆ハ習字ニ於ケルト同シク變拘ノ法ニヨリ懸腕直筆ヲ可トス然レモ小部分ヲ描クニハ必ズシモ懸腕ナラザルモ可ナリ筆ハ成ルベシ眞直ニ使用セシムベシ但シ濃淡着色ノ場合ハ此限リニアラス生徒ハ往々一筆ヲ數月間使用シテ其毛先ノ磨滅セルヲ知ラザル者アレハ時々注意シテ成ル可ク秃筆ヲ使用セシメザルヲ可トス以上ハ大要ニ過キス詳細ハ説明圖中ノ各箇ニツキ了知アラソコトヲ望ム

洗 羊 形字十



線ニ直線曲線ノ別アリ直線ハ變化
 少ク運筆亦容易ナルガ故ニ畫ヲ教
 ニル先ツ直線ヨリハシム就中横線
 ハ最モ簡易ナルヲ以テ之レヲ運筆
 ノ初歩トナシ縦線之レニ次ク之レ
 ナ授クルニ教師黑板ニ本圖ヲ畫キ
 テ下筆ノ順序運筆ノ工合ヲ示シ而
 シテ此圖ヲ説明シ(耶蘇、傑刑、赤
 十字社等ノ語)執筆法等ヲ注意シ
 徐カニ反覆練習セシムベシ
 斜線ハ前二線ノ中間方位ヲ保チテ
 一定ノ向ニアラザルヲ教ヘ其物体
 ノ使用法等ヲ示シ左方ノ寫生圖ニ
 據テ其省筆ヲ知ラシムベシ

函便郵 箱本



以上諸線ノ練習

船形屋

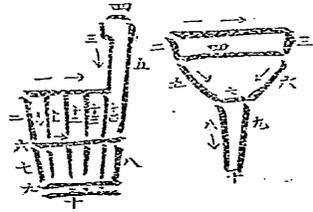


直線ト斜線ノ混用

二十八

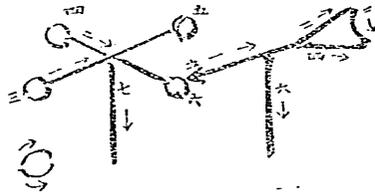
曲線及斜
線ノ混用
片手桶ノ
(十一)ヨ
リ(十三)
ニ至ル間
際ハ二端
ニテ漸次
セマク
ベシ

漏斗、片手桶



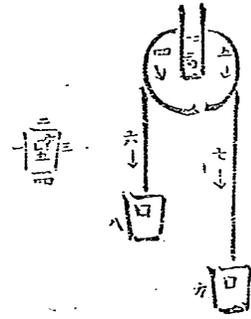
用混線直曲

計力風 見風



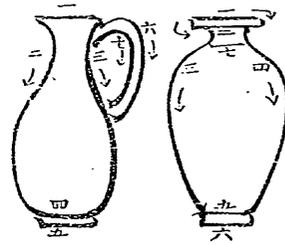
二十九

釣瓶、ロクロ (滑車ノ話)
 (三)ハ圓ノ中心タルヲ(八)(九)ハ
 其大サ等シクスペシ



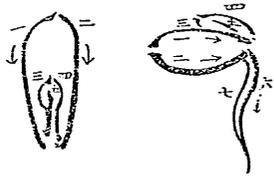
差水 瓶花

曲直二線ノ混用
 (四)(五)ハ等シカルベキヲ



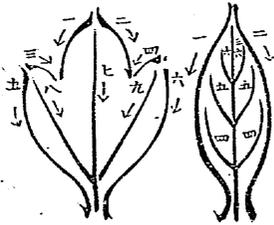
三十

柿種 (種ノ組織及生理ノ話)
 曲線ノ變化



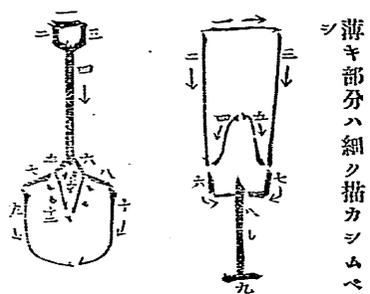
柳 (葉ヲ示シテ物實成可ク脈ヲ知シベムシラ)

曲直混用兩片ハ各等シカル
 ベシ



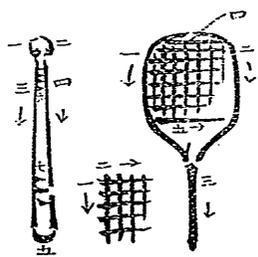
三十一

ルーベヨシ (話ノ農和) 鋏
差具洋



シ 薄キ部分ハ細ク描カシムベ

トツバ トツケラ

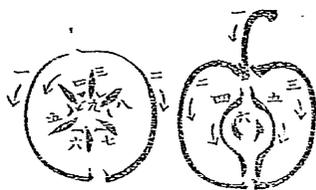


(一)(二)ノ曲線ヲ注意スベシ
(三)ハ其中心ヨリ引クベシ

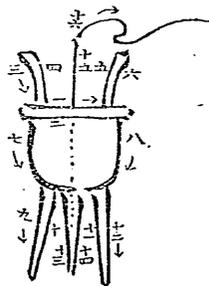
柿

梨 切斷

シベスクシ正ナ心中其

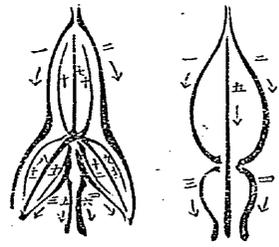


爐 香



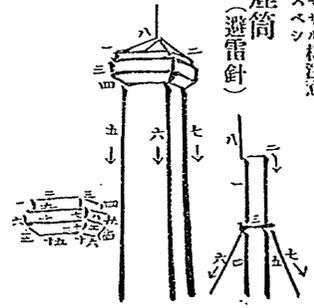
(三)(六)及(七)(八)ハ等シクシ中
ノ足ハ兩端ヨリ短クスベシ

橙ノ(五)ハ直ナルベク澤瀉ノ葉
ハ其上部ハ中心ニ集リ下部ハ中心
出ヨリ
ベシス



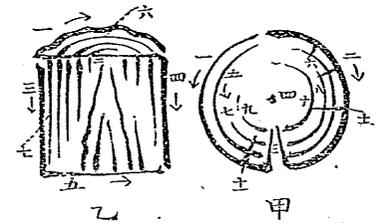
三十四
避雷針一ハ其中心ヨリ一ハ其周囲ノ一隅
リ立テルヲ知ラシムベシ尙其標筒ノ傾斜
セザル様注意
スベシ

煙筒
(避雷針)



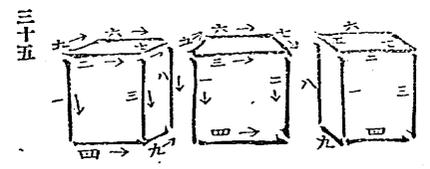
木材

(横斷)
乙ノ輪層
ハ外皮ニ
近キモノ
ヨリ内部
ハ描クベ
シ(六)
(七)外皮
ノ曲シハ
差違テ生
ズルモ憂
ラズ



正立方体

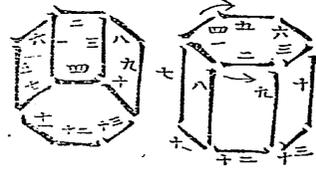
此圖ハ立体ヲ
描クノ法ヲ示
スモノナレバ
詳細ニ説明シ
テ其理ヲ知得
セシムベシ
正面左右ノ斜
面



三十五

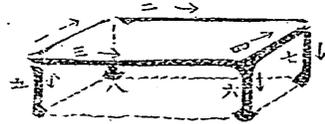
六角柱

シ全ト圖前



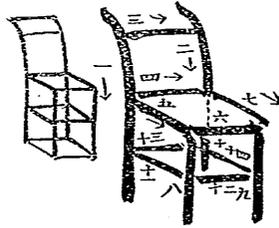
机

總テ如此キモ
ノチ描クニハ
其脚ノ高サヲ
等シカラシメ
ンガ爲長方形
体ノ下圖ヲ描
カシメテ後チ
筆ヲ下サシム
ベシ
其理法前ト同
シキチ教ユベ



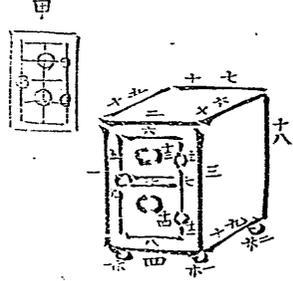
椅子

左方ノ如キ下圖ヲ描カシメテ後
筆ヲ下サシムベシ



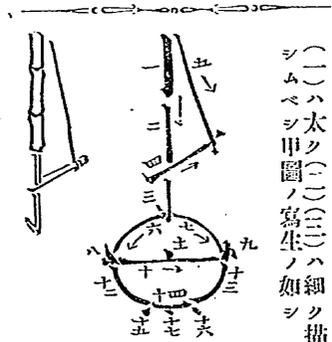
甲圖ノ如キ下圖ヲ描カシメ其直
線ノ並行ニ注意セシムベシ

金庫 (造等ノ話)



鳥都ニ水流

ハ鳥シベムシサ下ヲ筆ニ暢流ハ水流
シベムシモ接密ニ水ク低ク成可



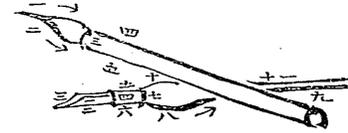
三十九

自在鏡ニ鍋

(一)ハ太ク(二)(三)ハ細ク描カ
シムベシ甲圖ノ寫生ノ如シ

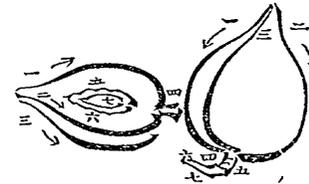
(遠差ノ料原及字文洋和)ンペ。筆

シベムシカ描ニ線直成可ハ管ノ筆



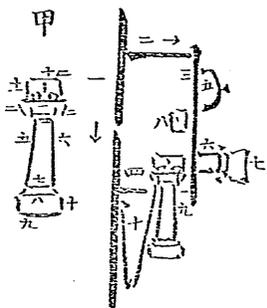
(話ノ上學物植) 桃

滯ルズ生ヲ遠差ノ少多ハ皮外ノ桃
シベムシサ下ヲ筆クナ



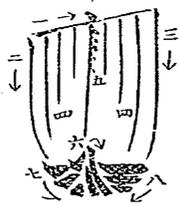
三十八

(話ノ氣電) 器話電



(一) 線ノ中間ニテ筆ヲ接スルハ其長キナラバ其故ニ強テ接グニ及バズ音シ接グシテ其日ノ太クナラサル様注意スベシ
甲 圖ハ交話器ナリ

船懸帆

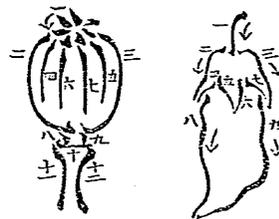


如此キモノハ木圖ト多少ノ差違
ナルモ筆ヲ滯滞ナク運バシムル
ヲ可トス

唐辛子 (八)(九)ノ線ハ差ヲ生ズモ支
シベスグ細ヲ端末隆シナ

唐辛子

(鴉片ノ製法及
鴉片戰爭話)



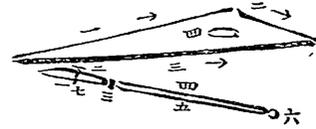
毛刷

レナノモルセ示ヲサ厚其ハ(四)(六)
シベスシ太ヲ線リヨ(二)ナ

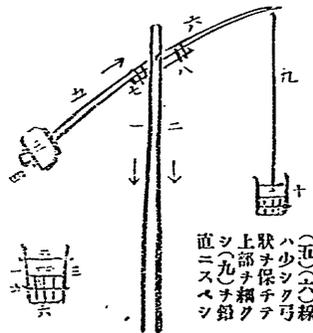


口烏 規定角三

定規ハ 其角度 ノ變ザル 様注シテ 意シテ 直線チ 描クベシ (三) ハ其厚 サナレバ 太クシ



羽根釣瓶



四十三

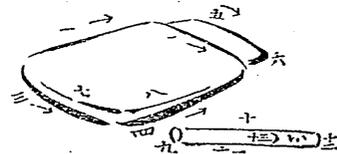
(五)(六)線ハ少シク可狀チ保チテ上部チ細ク直ニスベシ

一年葉、菊 總テ葉ニハ 接スルニ 厚キモハ 分ナレモ 厚シキニ 分ナレモ 次シテ漸ク 細シクシ



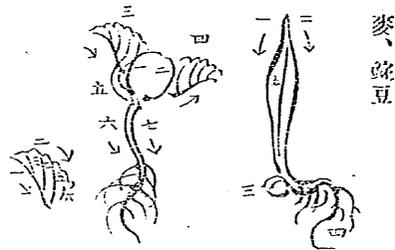
入艸煙卷

レナ分部ルニ接ニ疊ハ線ノ(四)(三) シベク描ク太ク處ルニ接モ最其

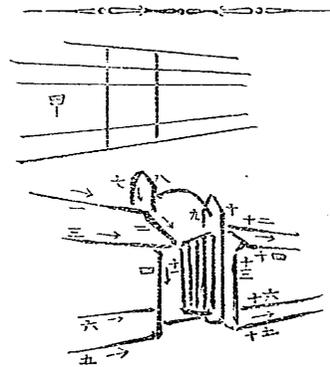


四十二

モルア 違相ノ少多ニ數其ハ髯ノ根
リナ可バレケナ差ニ性特其



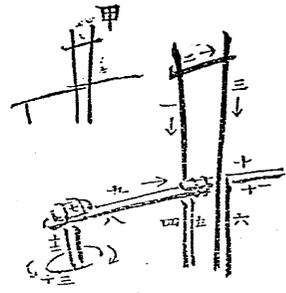
麥、大豆



門扉 總テ建築物ヲ描クニハ甲ノ如ク悉ク線
ヲ以テ其割合ヲ定メ後筆ヲ下スベシ

機搗米

(甲)ノ如キ下圖ヲ描キテ後筆ヲ下
スベシ(八)(十)ハ太ク(九)(十一)ハ
細ク



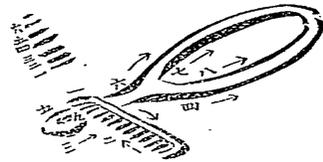
串魚 燒魚

(十二)ハ魚串ノ先ナレハアマリ
尖スベカラズ唯筆ヲ下スノ時ニ抑
ス可以ルヘサ
トテチザ



櫛 鏡子礪

等ニ深其ハ(七)ニ厚ノ鏡ハ(四)(三)
シベス意注



此ノ圖
ノ如キ
ハ日常
最モ目
ニ觸ル
モノナ
レハ練
習ノ上
ハ其形
狀ヲ變
化セシ
ムベシ

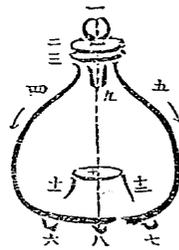
四十九



下 駄

瓶取蠅

此圖ノ如キハ其中心及其フクラ
ニ等チ注意スベシ面シテ其内部
ノモノハ輕ク描カシムベシ



月ハ淡ク輕ク描カシムベシ

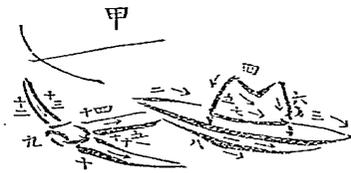
四十八



月 時 鳥

猪鶴(話ノ鏡炭石)帽堅利米

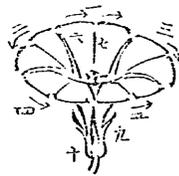
シセ習線ニ別各キ描ヲ圖下ク如ノ甲
シベム



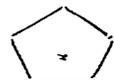
顔朝



五十

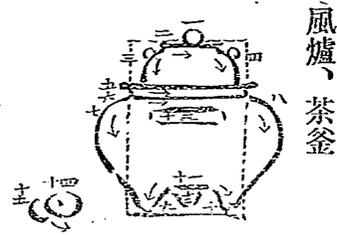


梗桔



總テ花ノ蕊ハ最終ニ描クベシ

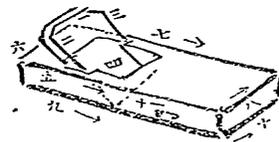
シカ描ヲ圖下ノ形方長ク如ノ線点
シベスクシ正ヲ合割其メ



風爐、茶釜

匏

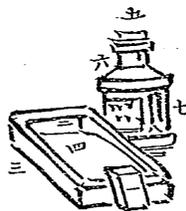
ノ具金其テキ描ヲ形方長テ以テ線点
シベム定ヲ合割



五十

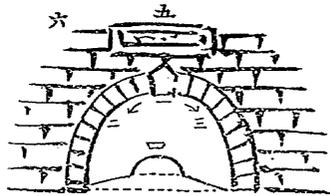
イシキ壺 硯

先ツ硯ヲ
圖取リ次
ニイソキ
壺ノ全形
ヲ圖取リ
其位置ヲ
定メ後筆
ヲ下スベ
シ
此圖ノ如キハ日常生活ノ使用スル
モノナレバ實物ヲ示シテ知悉セシ
ムベシ

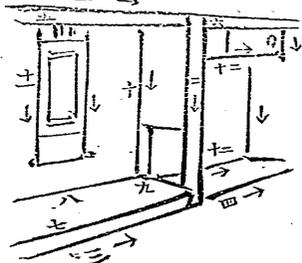


隧道

此圖ノ如
キハ紙面
ニ簡單ニ
縱横ニ基
盤割ヲ引
カシメ後
割附ニヨ
ツテ描カ
シムベシ



間床 柵戸袋



始メ点ヲ以テ上下ノ線ヲ描キ其ヨ
リ順次ニ割附ケナスベシ

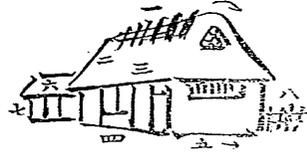
軍旗

本圖ノ旗ヲ描
カシムル時成
可ク筆ヲ輕ク
運バシムベシ
總ノ数ノ知キ
ハ多少ノ差違
アルモ支子ニ
テナシ只調子
ステテテテト
シテ旭ノ着色
モ淡ク用ユル
可ナリ



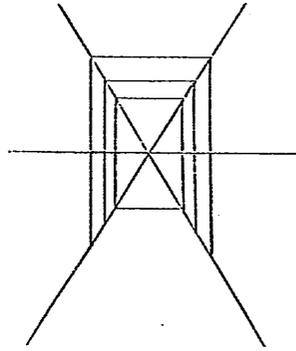
茅屋

遠近ニ注
意スベシ
應用トシ
テ正面圖
ヲ描カシ
ムルモ可
ナリ
着色
壁、淡倍
窓、淡墨
赭



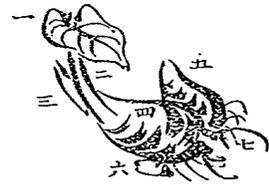
廊

直線ヲ以テ下圖ヲ描キ其線ノ
集合ノ理ヲ説明スベシ應用ト
シテ自己ノ教室ヲ描シムベシ



芋

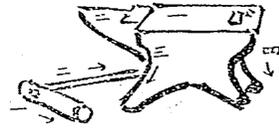
其根ハ其大
小ニ關セズ
直ニ以テ
描カシメ
少シカシ
シテ斜ク
シテ描ク
ベシ
着色
葉、艸
根、倍赭



金床
相錠

此圖ハ成可
ク太ク描ク
ベシ

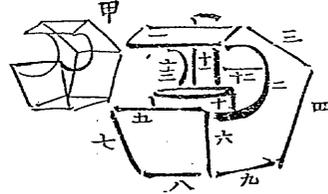
金床礎、淡墨
梢、赭墨



煙艸盆

甲圖ノ如ク
下圖ヲ造リ
テ後筆ヲ下
スベシ

箱、淡倍赭
筒、赭黃
火入、綠

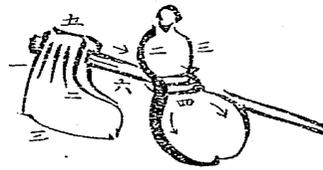


五十八

瓢ニ斧

(養老ノ話)
斧ノ及ハ細
ク描クベシ
(一)クハハ
(二)クハハ
端ヲガクス
ベシ

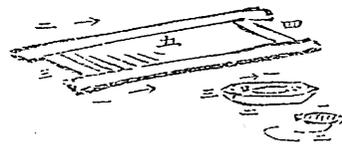
着色
瓢ハ淡キ
赭墨
斧ハ背ヲ
淡墨ニテ
下ニボカ
スベシ
柄 赭墨



箴 扞

其長短廣
狹ニ注意
スベシ

着色
(五)ハ赭黃
他ハ淡キ
赭墨



五十九

錨

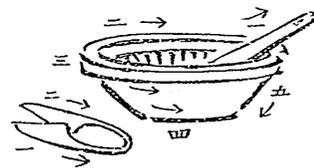
(一)ノ如ク下
圖ヲ描キテ
筆ヲ下スベ
シ其四分セ
ル点ヲ注意
スベシ
着色
淡墨ヲ塗
ルベシ



摺鉢、鉢

(普通)

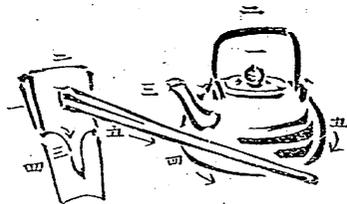
摺鉢
鉢
淡藍墨



鍬

藥罐

着色
藥罐
昏緒
鍬
精墨
金屬ノ
分ノミ
淡藍曲

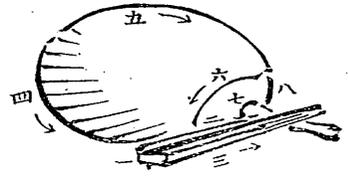


捕虫器

其網ハ其柄
ヲ直線ニシ
テ其圓ノ中
心ヲ貫カシ
ムベシ
箱柄共ニ
精墨
網
淡脚絲



扇子、團扇
團扇ノ骨ハ其
柄ニ集マルベ
キ方向ニ描カ
シムベシ柄ハ
其中心ヲ貫ク
ベキ線タルベ
シ
着色
柄
應用
既習
其面
ナリ
シム
ルモ
可カ
テ
淡墨
ヲ
シ
テ



朝鮮帽
長煙管
頭ハ縁ノ中
心ニ安置セ
シムベシ
着色
煙管
赭
黄

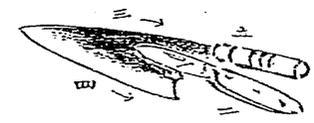


六十二

庖丁、小刀

薄キ部分ハ細
クシ厚キ部分
ハ太クスベシ

柄 淡褐色
及 淡藍

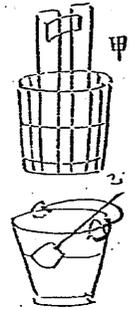


手桶、バケツ



六十三

甲乙ノ如ク下圖ヲ造リテ下筆セシムベシ輪ハ丙ノ如ク筆ヲ運ハシムベシ「杓」ノ入レ標注意スベシ此圖ノ如キハ一箇宛描カシムベシ



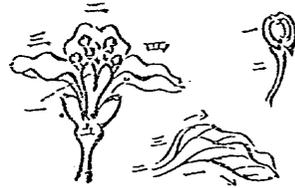
着色
手桶
バケツ
淡藍墨

三味線艸

六十四

本圖ヲ授クル際ハ成可ク其構造ニ就キテ問答セシムベシ

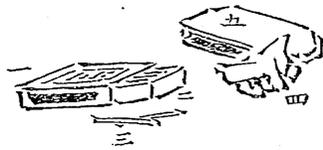
着色
一五
淡黃艸



燧石
火打金
マツケ

此圖ノ如キハ其變遷及發火ノ理ヲ説明スベシ

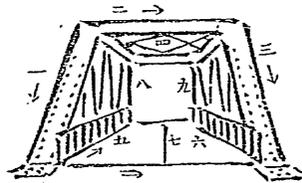
石 艸 絲
木 赭 黄
紙 藍 又 朱



釣橋

廊ニ全シク其線ノ集合点ヲ定ムベシ

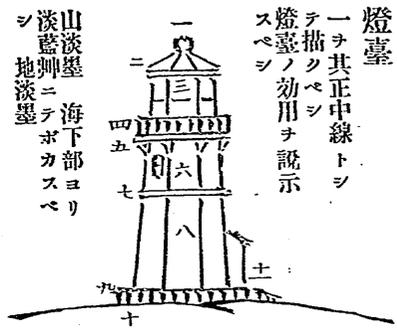
着色
赭墨ニテ墨ノ上ヲ再ビ描クベシ
之レヲ括
(ルト云フ)



六十五

燈臺

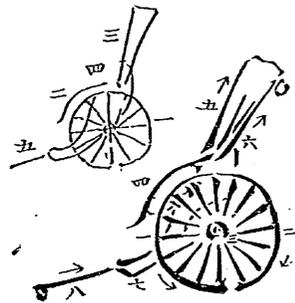
一ナ其正中線トシ
テ描クベシ
燈臺ノ効用ヲ説示
スベシ



山淡墨 海下部ヨリ
淡藍脚ニテボカスベ
シ 地淡墨

人力車

下圖ヲ描キテ車臺ヲシテ
車上ニ安置セシムベシ



六十六

ラム子瓶、洋盃

其フクラミチ均クスベシ

着色
瓶
淡緑
洋盃
淡藍



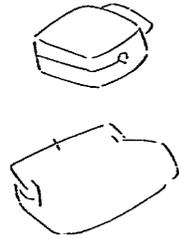
制帽

如此キモノハ
實物ヲ示スベ
シ全体淡墨ヲ
スルベシ
尙淡墨ニテ括
ルベシ
應用トシテ正
面ニナサシム
モ可ナリ

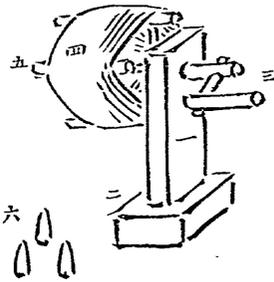


六十七

鈴驛 袋草便郵

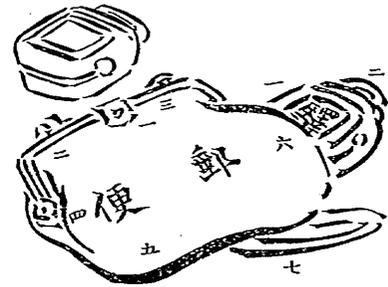
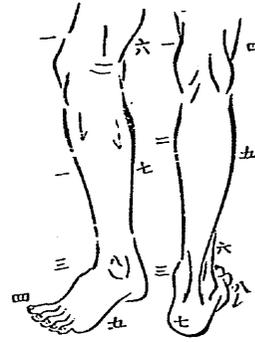


袋ニハ淡墨ヲ塗り金具ハ赭黄驛
 鈴ハ脚墨ヲスリ尙淡墨ヲ以テ骨
 描チクハルベシ(クハルイハ前
 章ニ云ヘリ)應用トシテ各箇ニ
 描カシムルモ可ナリ



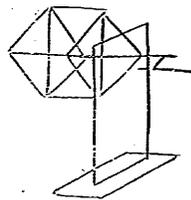
七十一

膝脛
 全部淡墨ニテ描キ淡キ倍赭ヲ施ス
 ペシ



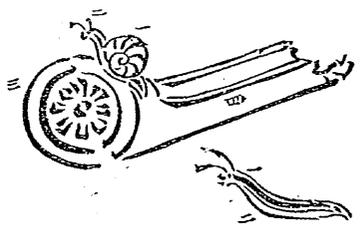
七十

左ノ如ク下圖ヲ造リテ後筆ヲ下ス
 ベシ棒ノ軸ハ其中心タルベキナ
 要ス應用トシテ其棒ヲ廻轉セシム
 ベシ



シヘル括テニ蒸倍キ深ハ虫
 墨監ハ瓦

蝸牛 蛤

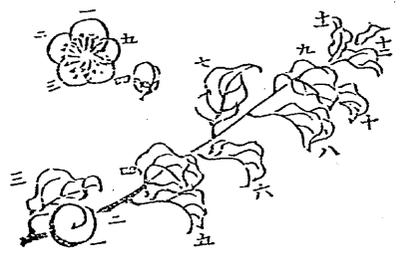
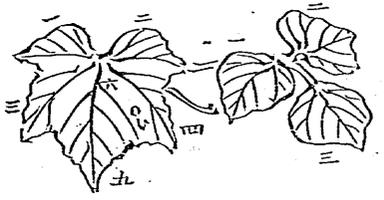


七十二

鵲豆
 芙蓉

葉ハ各箇
 ナ畧全形
 ニスベシ

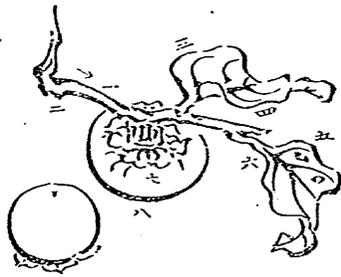
着色
 艸綠
 葉柄
 黃艸



七十三

梅

先ツ枝ノ位置ヲ定メ後最モ目ニ近
キ部分ヨリ筆ヲ下スベシ即チ實ヲ
描キ枝葉ニ及ボスベシ葉ハ其枝ノ
前面ニアル部ヲ先描キ其漸次ニ先
キニ至ルナリ互生葉タルニ注意
スベシ
着色 葉表面藍艸裏黃艸若葉ハ
表裏共黃艸ニスベシ實ハ黃ニ少
シク俗緒ヲ加フベシ一部ニ少シ
ク燕脂ヲ加フルモ可ナリ

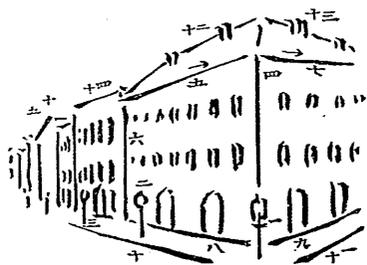


七十四

柿

葉ハ表チ脚線墨トシ裏ハ黃艸實ハ
朱「へタ」ハ赭墨ヲ塗り尙淡墨ニテ
括ルベシ枝淡墨
應用トシテ實ヲ放シメ又裏向一
箇ヲ添フルモ可ナリ

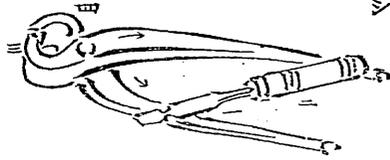
市街 着色 家ハ赭墨又ハ淡墨 窓、根



七十五

釘板、捻廻シ

金屬ハ藍墨
柄ハ 赭墨

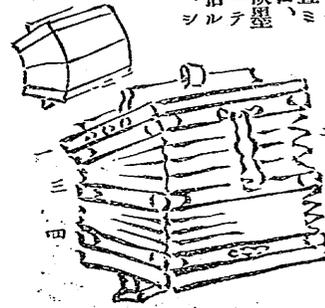


七十六

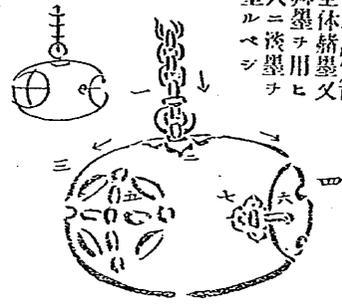
手風琴

金具ノ外棹淡墨、胴チ淡キ藍ニス

目盤ニシ
淡墨
括ニシルテ



金燈籠
全体赭墨又
脚墨チ用ヒ
穴ニ淡墨チ
塗ルベシ



目眉鼻口耳

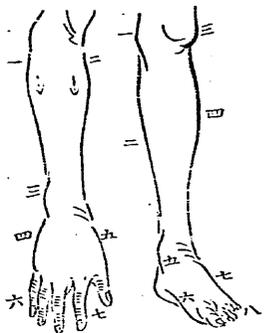
總テ肉ハ中墨
眉眼暗ハ濃墨



七十七

脛、腕

全部淡墨ニテ描キ淡キ倍赭ヲ施ス
ベシ



七十八



蛙

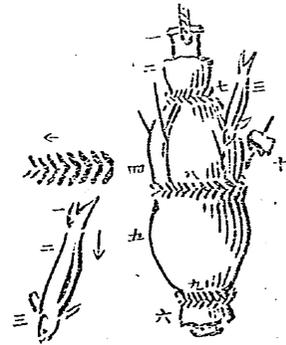
総テ動物ハ先ツ目ヲ描キ口ニ及シ
背手腹足ニ及ボスベシ全体描キ了
リタル後ニ眼睛ヲ点ズベシ(以下
皆全シ)脚ハ前ヨリ描キ漸次ニ後
方ニ及ボスベシ脚ハ一團宛描クベ
シ
着色 背脚縁手足表又全シ腹及
口指等ハ淡キ倍赭ヲ用ユベシ脚
ハ黄脚ヲ以テ描クベシ蛙子淡墨
脚ハ一部ヲ多クスレバ一部ハ少
クスベシ

七十九



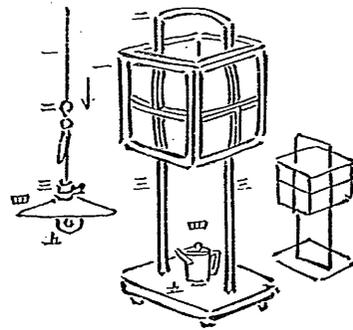
蠶、蛾、桑

蠶蛾ハ中墨桑、濃墨繭ハ淡墨ニテ
 描クベク着色ハ蠶ニ淡キ藍、蛾ハ
 極淡俗緒、繭ハ極淡藍、桑ハ藍艸
 ナ塗ルベシ
 蠶ハ其關節ヲ淡墨ニテ括ルモ可ナ
 リ
 葉柄、黃艸



藁苞

先ツ木炭ヲ以テ下圖ヲ描キ乾結ノ
 位置ヲ定メ中墨ヲ以テ魚ヲ描キ稍
 淡キ墨ヲ以テ繩及藁苞ヲ描キ濃墨
 ナ以テ中心ノ竹ヲ描クベシ着色ヲ
 施サイルニ於テハ上圖ノ順序ノ如
 ク下筆スベシ
 着色 魚、藍墨、藁、緒黃淡キ緒
 墨ニテ墨描キヨク長ク括ルベシ
 繩モ亦全シ竹緒墨又艸稿
 藁ヲ緒墨ニテ括ルハ前墨描キノ
 上ヲ再ビ淡キ緒墨ニテ描クナリ



行燈、電氣燈

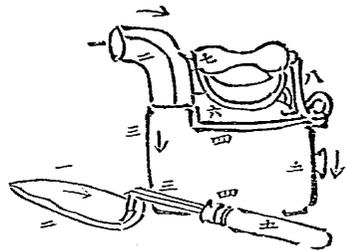
此圖ヲ授クルニ當テ燈火ノ變遷等
ヲ語ル最趣味アルベシ
着色 行燈ハ紙張ノ部ヲ除クノ
外 楮墨油差、楮黃電燈笠、胡粉金
具 楮黃、連球、楮墨
總テ白色ノモノハ淡墨ニテ描ク
ベシ



松簞

洗筆ノ先ニ濃墨ヲヒツカケテ笠及
ビ軸ヲ描キ裏及ビ莖ハ淡墨ヲ以テ
描クベシ 斑紋ハ楮墨ニ墨ヲ引懸テ
描クヲ可トスレモ又墨ノミニテモ
可ナリ裏ハ極淡キ倍楮ヲ施スベシ
密ニセントスレバ胡粉ニテカキコ
ミヲナスベシ 笠幹ハ淡キ楮墨ヲ全
部ニ施スベシ



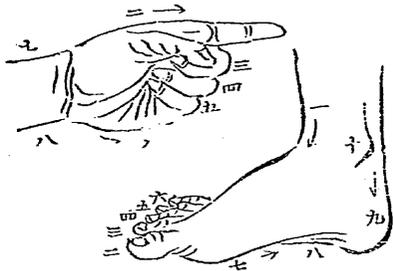


火熨斗

鍔

着色

水熨斗ノ(七)鍔ノ(五)ヲ除クノ外
 悉ク藍墨ノ墨ガチ(五)(七)ハ赭墨
 (一)(六)ハ凹所ナレバ後再ヒ淡墨
 ナ塗ルベシ



手首、足頸

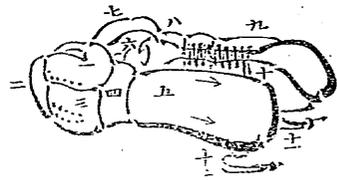
手ハ先ツ親指ヨリ始メ漸次下ニ及
 スベシ指ヲ屈スルイ多ケレハ手ハ
 益縮ルベシ全部中墨

着色

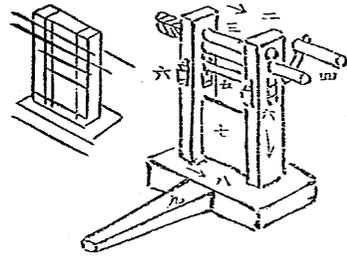
淡倍赭其凹處ヲ赭墨ニテヌラス
 ベシ

籠手

着色
手先ヲ淡
キ藍墨ト
シ元ヲ淡
墨トスレ
ルモ可ナ
リ

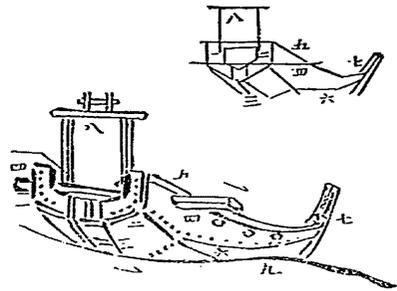


綿繰器 全部着色
ノキノ淡
ノミニ
淡墨
シスチ
ベ

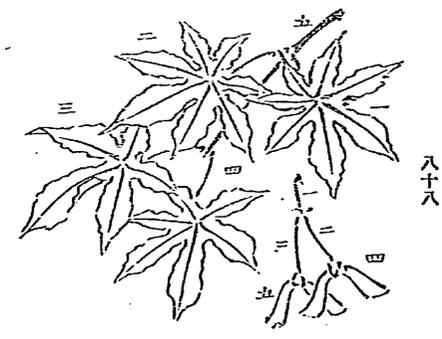
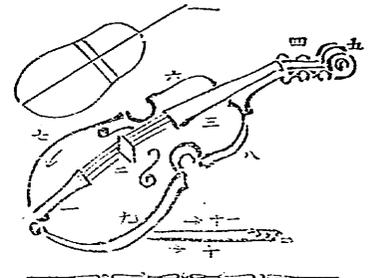


漁船

全体餘濃カラザル墨ヲ以テ描キ
(七)ノミハ濃墨ヲ以テスベシ土
地(九)ハ赭黄ノ淡キモノ底部ハ後
淡墨ヲ再ビ塗り他ハ悉ク淡キ赭黄
墨ヲ塗ルベシ後赭墨ニテ括ル又可
ナリ



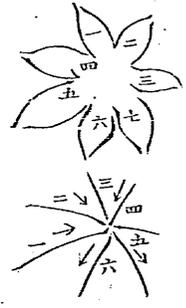
シリナイバ
 着色(一)
 (三)(四)
 ハ淡墨
 (二)ハ白
 他ハ悉ク
 結墨ナ施
 スベシ



八十八

楓

此葉ノ對生ナルヲニ注意スベシ
 全体中墨着色艸絲實ハ黃艸羽根ノ
 先ヲ燕脂ニテホカスベシ柄モ又全
 シ紅葉ハ淡キ黃艸ヲ用ヒ後葉先ヨ
 リ朱ニテ深クホカシ尙其先ヲ燕脂
 ニテヌラスベシ



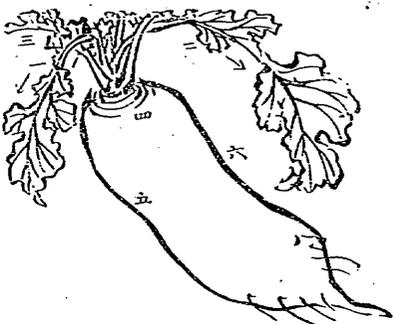
蠶螂ノ着色ハ全部
 黃艸腹手先口等ニ
 シベフ加ヲ朱クシ少

蠶螂、蜂



蜂ハ俗緒
 頭黃糞緒
 墨淡墨ノ
 括リチナ
 スベシ

八十九



大根

葉ハ濃墨ニテ描キ莖ハ中墨根ハ淡墨ニテ描クベシ
 着色
 葉ハ艸絲裏及ビ莖ハ黃艸莖ノキワ(四)ノ邊ニ少ク淡キ艸絲ニテボカスベシ



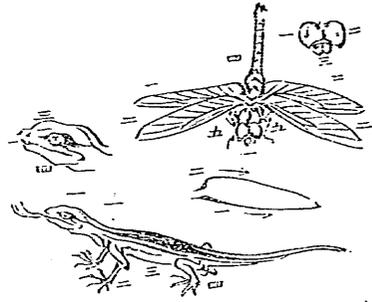
山茶花

花ヲ淡墨ニテ描キ葉及ビ枝ヲ濃墨ニテ描クベシ裏葉中墨着色
 花瓣ノ一部ニ淡キ燕脂ヲ施シ蕾ハ稍濃ク施スベシ
 包及ビ裏葉ハ黃艸表葉ハ藍艸墨蓋黃心ニ黃艸ヲ用ユベシ

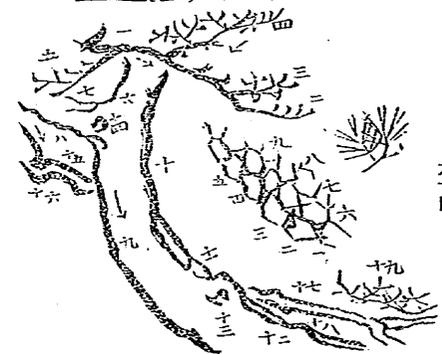
蛤 珊瑚



左ノ順厚ノ如ク中墨ヲ以テ筆ヲ下
 スベシ着色ハ珊瑚紅ナレハ淡キ朱
 白ハ胡椒粉点朱ハ淡墨又淡キ燕脂墨
 他ハ淡キ赭墨ヲ塗ルベシ



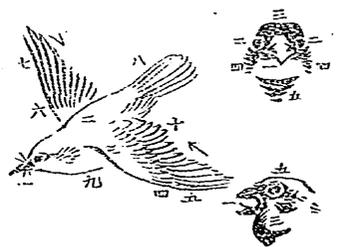
蜻蜒、蚥蟬
 虫ハ目ヨリ先ツ筆ヲ下スベシ蜻蜒
 ハ体ヲ濃墨ニテ描キ羽根ハ中墨ニ
 テ描クベシ蚥蟬ハ背ヲ濃ク描キ腹
 部ヲ稍淡クスベシ
 着色
 蜻蜒ハ全部黄ヲ施シ羽根ハ淡墨
 ナ用ユベシ
 蚥蟬ハ背ニ藍ヲ施シ頭ヨリ黄ヲ
 施スベシ目黄腹ハ白



九十四

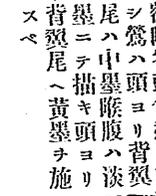
松

松悉ク濃墨ヲ以テ描キ其龍鱗即チ皮ノ裂目ハ其幹ノ下部ヨリ描キ漸次上部ニ及ブニ從ヒ粗ニ描クベシ葉ハ並行スベカラズ必ズ枝ノ先ニ附スベシ前面ノ分ヨリ描キ後方ニ及ボスベシ龍鱗ハ形ノ全シキハ醜ナリ始メハ扁平ニシテ正面ニ至テ稍大ニシ以テ其フクラミヲ現スベシ着色葉藍脚其茂ゲレル部分ヲ濃クスベシ幹緒墨ヲ粗ニ塗ルベシ下部ヲ濃クスベシ龍鱗ハ淡墨ニテ括ルベシ他ハ實物ニ就テ工夫スベシ



九十五

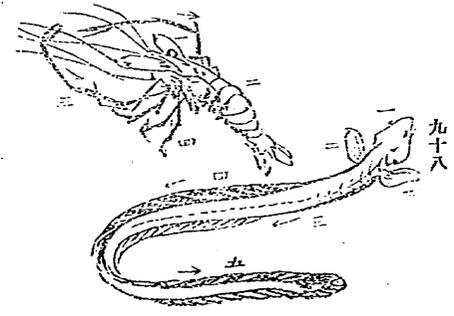
鶯 燕 雀
 先ツ頭ノミテ練習セシメ後全体ニ
 及スベシ總テ鳥ハ口ヨリ始メ鼻ニ
 頭ニ及シ漸次背翼尾ニ至ルモノニ
 シテ喉腹ハ多ク白キモノナレバ最
 終ノ筆チ用ニルチ適當トス翼ハ多
 ク先ヨリ描クベシ
 着色 燕雀ハ濃墨ニテ描キ燕ハ
 額喉雀頭併緒ヲ施
 シ鶯ハ頭ヨリ背翼
 尾ハ中墨喉腹ハ淡
 墨ニテ描キ頭ヨリ
 背翼尾ハ黄墨ヲ施
 スベシ



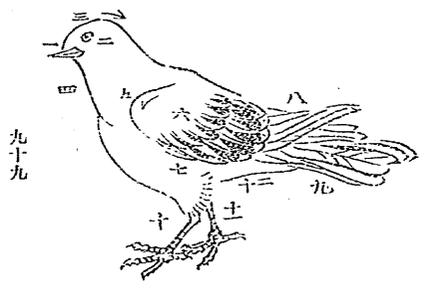
鷹 鶯
 総テ鳥ハ先ツ濃墨ヲ以テ口ヨリ描
 キ口頭喉ニ及ボスベシ足ハ濃墨鶯
 ハ悉ク中墨ニテスベシ
 着色 口黄先墨クマ目緒黄、鷹
 頭緒墨、足黄鶯足ハ淡キ米ノ黄
 味ヲ施スベシ陰白



花ハ淡墨葉薔苞ハ中墨枝幹ハ濃墨
 ニテ描クベシ
 着色 花ハ一部ヨリ燕脂ニテボ
 カスベシ管チ濃クスベシ葉ハ倍
 諸葉苞柄ハ黄脚先ヨリ燕脂ニテ
 ボカスベシ莖ハ黄心ハ脚線ノ点
 チウツスベシ幹ハ淡キ精墨ヲ施
 スベシ密齧ニ着色セントスレバ
 花ハ燕脂ニ胡粉ヲ加ヘタルモノ
 ニテ線チ除キテ外方ヨリ内方ニ
 ボカスベシ莖ハ胡粉ニテ描キ黄
 ニ胡粉ヲ加ヘタルモノニテ点チ
 ウチ心ニ白線チ打ツベシ



手長鰻、鰻
 先ツ目ヨリ筆チ下スベシ全部中墨
 ニテ描クチ可トスヒレノ如キハ稍
 濃クスベシ目濃墨
 着色
 脚墨ニ少シク倍齧チ加ヘ全部ニ
 淡ク施スベシ



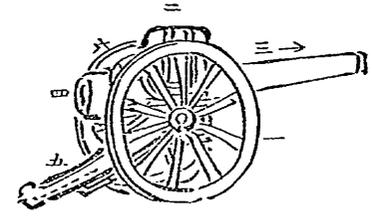
鳩、白鳩

先ツ口ヲ濃墨ニテ描キ目ハ中墨体
ハ淡墨風切羽根及ヒ足ハ稍濃キ墨
ニテ描クベシ
着色
口足ハ淡キ燕脂ヲ施シ後燕脂ニ
テ括ルベシ風切及尾ハ淡墨ヲ施
シ目ハ黄ヲ塗リテ後濃墨ニテ眼
睛ヲ点スベシ



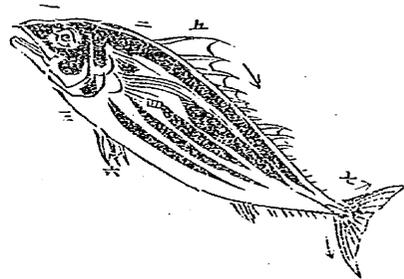
首

横顔ハ先ツ額ヨリ筆ヲ下シ目鼻口
際耳ニ及スベシ
頭毛ハ濃墨ヲ用ニベシ顔ハ淡墨
着色
肉ハ淡キ岱楮ヲ施シ頭ハ髮際ニ
テボカスベシ目ハ上目蓋ニ稍濃
墨ヲ施シ眼睛ヲ点スベシ口ハ最
淡キ朱ニテ内ヨリ外ニボカシ合
口ニ目ト同シク濃墨ヲ施スベシ



野砲

全部濃墨ニテ描クベシ先車輪ヲ描
キテ位置ヲ定メ砲架砲身ニ及スベ
シ車ノ輪ヲ描キ其中心ニ軸ヲ置キ
後尖ニ及ボスベシ
着色
砲車全部積墨又軸墨砲身淡キ積
墨



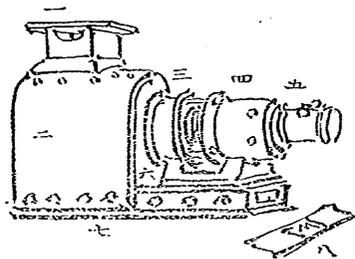
百二

鯉魚

魚ハ先ツ目ヨリ始メ口邊ニ反シ背
ヨリ尾ニ至リ腹ニ終ルヲ可トス此
魚ノ如キハ黒色ヲ帶ルモノナレバ
腹部ヲ除クノ外濃墨ヲ用エベシ全
部墨描キヲ了シタル後筆ヲ洗ヒ先
ニ少シク墨ヲ含マシメ頭部ヨリ漸



次下方ニ施スベシ
縦令墨ノ盡クルト
モ中間ニテ墨ヲツ
グベカラズ
着色ノ頭ヨリ背
部ニテボカスベ



百三

幻燈器

全部濃墨ヲ以テ描クベシ

着色

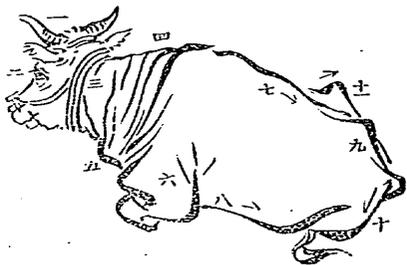
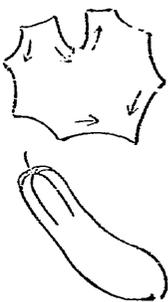
(四)(五)ハ淡キ赭黃他ハ淡墨ヲ施スベシ



百四

胡瓜

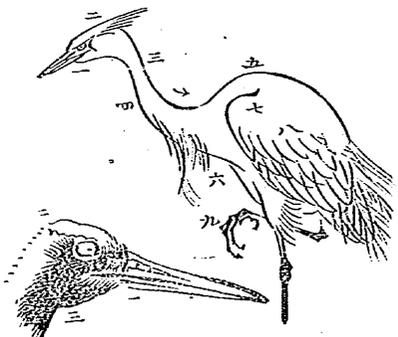
先ツ前ハ前面ノ葉ヨリ筆ヲ下スベシ
 シ葉實ハ中墨裏葉及ビ莖ハ淡墨ニ
 テ描クベシ
 着色 葉ハ表艸綠、實ハ艸綠ニ
 テ上部ヨリホカシ底部ヲ稍白ク
 スベシ裏葉及莖ハ黃艸



百五

半

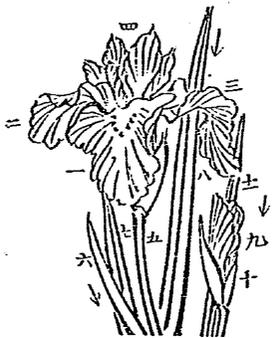
全身中墨ニテ描キ角及綱ヲ濃墨ニ
テ描クベシ
着色
全身淡墨鼻口ノ邊ニテボカスベ
シ角先ヨリ墨ニテボカシ根ヨリ
淡キ藍ニテボカスベシ綱中墨



百六

白鷺、鶴

鷺ハ口目ハ中墨足ハ濃墨他ハ淡墨
ヲ以テ描クベシ鶴ハ口目頂ヲ濃墨
ヲ以テシ喉ハ中墨ヲ以テ描クベシ
着色
口ハ脚線目ノ線黃目赭黃体ハ極
淡ク胡粉ヲ施スモ可ナリ鶴ノ頂
ハ朱ヲ施シ燕脂ニテ点ヲ描クベ
シ



百七

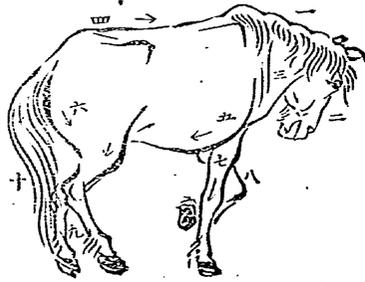
花菖蒲

白花ハ淡墨紫花ハ濃墨ニテ描クベシ苞及ヒ莖ハ中墨葉ハ濃墨ヲ用ニ
 着色 紫花ハ紫(藍ニ燕脂ヲ交
 ヘタル者)ヲ以テ外方ヨリ内部
 ニボカシ心ニ黄ヲ施スベシ裏面
 ハ淡クシ蕾ハ濃クスベシ「シワ」
 ハ後濃キ紫ヲ以テ描クベシ苞莖
 ハ黄艸葉藍艸
 白花ハ淡キ胡粉ヲ施シ濃キモノ
 ニテ「シワ」ヲカクベシ心黄



茶花

全部中墨ニテ描クベシ花及ヒ蝶ハ
 稍淡クスベシ
 着色
 花蝶黄、葉表艸綠、裏及莖黄艸



馬

タテガミ尾蹄ハ濃墨ヲ用ヒ他
ハ中墨ヲ用ユベシ

着色

全身ニ淡キ赭墨ヲ施シ

タテガミ及尾ハ赭墨ニテカ

キコムベシ

目鼻口ハ後ニ稍濃キ墨ヲ点
スベシ



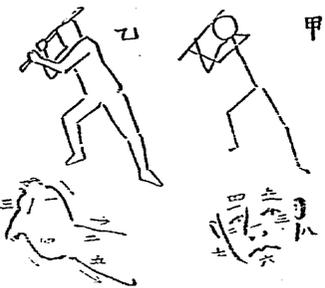
打球

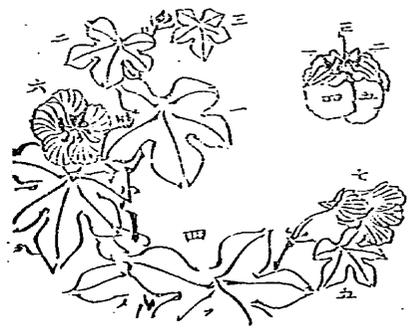
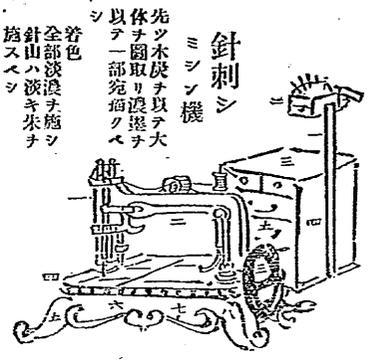
先ツ木炭ヲ以テ甲ノ如ク大体ノ形
ヲ造リテ其位置ヲ定メ後乙ノ如ク
裸体ノ形ヲ造リテ修整スベシ形ヲ
整フレバ先ツ帽ヨリ筆ヲ下シ衣袴
ヲ描キ後顔手ヲ描キ最後ニ棒及靴
ヲ描クベシ

着色

顔手脛赭、目邊ヲ稍濃クスベシ

帽衣袴白、靴淡墨、棒赭黃



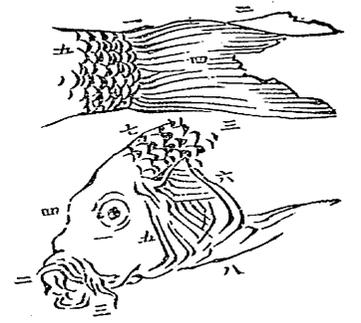


百十二

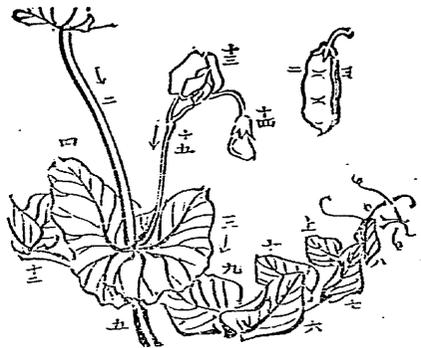
艸綿

此圖ハ前章ノ胡瓜ト全シ葉ハ表稍
濃キ墨ヲ用ヒ裏柄蓐ハ中墨實及ビ
花ハ淡墨ヲ用ユベシ

着色
葉表脚線、裏及柄蓐ハ黄脚其蓐
及ビ柄ハ先ヲ燕脂ニテボカスベ
シ花ハ筋ヲ胡粉ニテ畫キ後黄ヲ
施スベシ心ハ燕脂墨ヲ用ユベシ
實ハ胡粉ヲ施スベシ



百十三

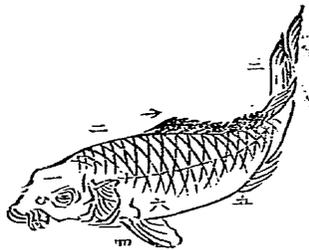


豌豆花

描キ方前章ノ粟花胡瓜艸綿ニ全シ

着色

葉表艸綠、裏莖莖黃艸、花胡粉
ホリ塗



鯉

鯉ハ全部濃墨ヲ以テ描クベシ鱗ハ
背ヨリ描キ始メ中央ヨリ以下ヲ漸
次稍淡クスルモノナリ

着色

頭ヨリ全身淡墨ニテホカシ後黄
墨ヲ施シ腹部ニテホカスベシヒ
レ及アギトハ端ヲ淡キ倍緒ニテ
少シクホカシ口邊ニモ又少シク
施スベシ眼睛ノ邊赭黄ニテ括ル
ベシ



虎

百十六

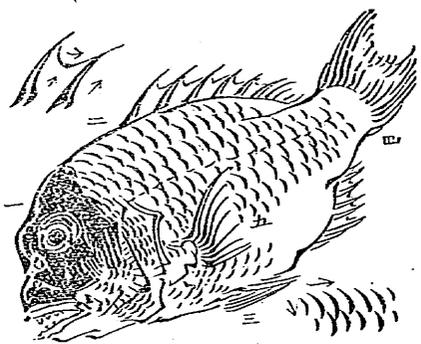
先ツ中墨ヲ以テ体ヲ描キ後首ニ及
 ホスベシ斑紋及髭ハ濃墨ヲ用ニベ
 シ此圖ヲ授クルニハ先ツ正面ノ首
 ナ練習セシムベシ首ハ先ツ兩眼ヲ
 描キ鼻口耳ニ及シ後斑点ヲ描クベ
 シ
 着色
 全身ニ赭黄ヲ施スベシ首背尾ヲ
 濃クスベシ唇ハ白クノコスベシ
 目、黄艸



鶏

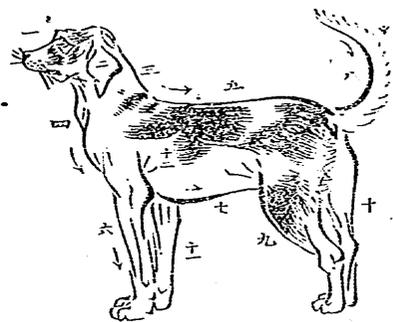
百十七

目ヲ中墨ニシ他ハ悉ク濃墨ヲ以テ
 描クベシ
 着色
 口足共ニ黄、冠朱、顔淡朱、囊
 毛ハ赭黄ニテ上部ヨリホカシ他
 ハ倍楮ヲ施スベシ腹、淡墨



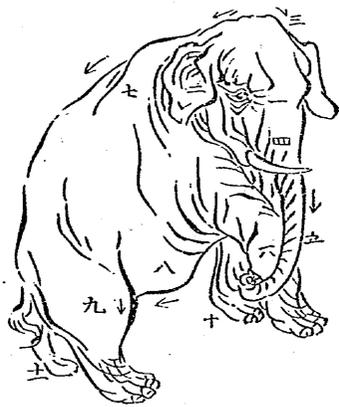
百十九

鯛
鯛ハ先ツ木炭ヲ以テ下圖ヲ造リ描
キ方鯉ニ同シ
着色 頭ヨリ背尾ヒレ共ニ燕脂
墨若クハ朱墨ヲ施シ腹部ヲ淡ク
シ尾ヒレハ後ニ淡墨ニテ外方ニ
向テボカスベシ



洋犬、和犬
先ツ和犬ヨリ練習スベシ和犬ハ虎ノ如ク兩眼
ヨリ申墨ヲ以テ描キ濃墨ヲ以テ斑點ヲ描クベ
シ斑點ハ割筆ヲ用ユベシ(割筆ハ卷首ニ録セ
用ニルモ可ナリ)

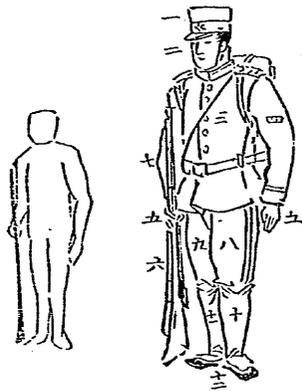
百十八



象

百二十

木炭ヲ以テ全体ノ形ヲ整ヘ
 中墨ヲ以テ目ヨリ始ムベシ
 牙ノミハ淡墨ナリ
 着色
 全身淡墨後再ビ淡墨ヲ以
 テ骨描キヲ括ルベシ牙ハ
 先ヨリ胡粉ヲ以テボカシ
 根ヨリ倍緒ニテボカスベ
 シ目、緒黄



兵

百二十一

前章ノ打球ト同ク木炭ヲ以
 テ裸体ノ形ヲ造リテ其形ヲ
 整ヘ帽被服背裝銃靴ヲ濃墨
 ナ以テ描キ顔手ケートルハ
 淡墨ヲ用ヒベシ
 着色
 顔手倍緒帽ノ中部襟黄肩
 章袴章朱銃緒墨ケートル
 緒黄被服帽淡墨紐淡キ倍
 緒帯ノ邊淡墨ニテ括ルベ
 シ

明治參拾四年拾月拾八日印刷
明治參拾四年拾月貳拾貳日發行

複製
不許

著述者

山元春舉

發行所

京都市下京區三條通寺町東入
石橋町拾參番戶
福井源次郎

印刷者

井手正三

京都市上京區高倉通三條上ル
東片町貳百貳拾番地

146
616

